

# 06年度 香里園駅東再開発だけで約43億円の支出 決算 大型開発優先やめよ 日本共産党が特別委員会で主張

**市民負担を軽減し  
くらし応援の市政にすべき**

一〇月一五日から決算審査特別委員会が開催され、日本共産党から寺本議員と中林議員が委員として参加しました。

一般会計、国民健康保険・介護保険特別会計の三会計の認定に反対しました。

〇六年度は、国の「税制改正」で、〇四年度に三四〇〇万円、〇五年度に六億円、〇六年度で約八億円、合計三年間で約一四億四三〇〇万円の増税が行われました。

さらに、介護保険法の改悪や保険料の三九%の値上げ、障害者自立支援法による利用者負担増などが行われ、市民生活をいつそう困難にしました。貧困と格差の広がりが深刻化する中で、市民負担が大幅に引き上

また、あやめ保育所の民营化では、民营化された保育園の保育士の三分の二が新卒で保育経験がないことや、20人以上の子どもが転所を余儀なくされるなど、重大な問題があ

## 市民の痛みのわかる市政へ



太田  
とおる

るにもかかわらず、市は今年度2つの保育所の民营化を推進するなど、「民営化ありき」の姿勢は認められません。さらに、廃プラ施設の健康被害について

の2つの再開発事業と寝屋川市駅東地区（42億8302万円）、香里園駅東地区（1億6014万円）と第2京阪道路の2つのアクセスマロード（11億5899万円）など、大型公共事業優先（合計56億6226万円）の税金の使い方でした。

市民のくらしより、大型公共事業を優先する姿勢の転換が求められます。

守ろう！いのちとくらし学習会

とき 11月10日（土）午後1時30分より  
ところ 寝屋川市民会館 講義室  
お話し 濱畑芳和先生  
(大阪千代田短期大学)  
参加費は無料です。  
どなたでも参加できます。  
主催 寝屋川社会保障推進協議会

どうなっているの？国保や介護保険、その上に後期高齢者医療制度など、社会保障制度切り捨ての根っこはひとつです。みんなで学びくらしを守りましょう。

しかし、決算の特徴は、投資的経費が前年比16.8%増で、その内容は、寝屋川市駅東地区（1億6014万円）、香里園駅東地区（42億8302万円）と第2京阪道路の2つのアクセスマロード（11億5899万円）など、大型公共事業優先（合計56億6226万円）の税金の使い方でした。

は、周辺住民が健康被害を訴え、民間施設の操業停止と4市施設の建設中止を求める裁判に訴えています。

そして専門家による疫学調査が実施されています。

しかし、寝屋川市は、健康調査をしないばかりか、健康被害を訴えています。

市民の健康をまちる住民を大切にする姿勢への転換が求められます。

は、周辺住民が健康被害を訴え、民間施設の操業停止と4市施設の建設中止を求める裁判に訴えています。

そして専門家による疫学調査が実施されています。

しかし、寝屋川市は、健康調査をしないばかりか、健康被害を訴えています。

市民の健康をまちる住民の痛みを受けとめようとします。

この問題の根底に、形を変えた「同和」の特別扱いがあります。